

平成 30 年度 学部便覧及び大学院便覧「教育職員免許状の取得について」の内容一部修正について
(該当ページ 学部便覧 P. 104～106、大学院便覧 P. 131～133)

表 3 「教職に関する科目」

(教職に関する科目のうち「各教科の指導法」については、後掲の表 4 を参照)

教育職員免許法上の認定科目		科 目 名	担当教員	単 位	開講時期	曜日 時限	開設学部	開講 場所	前期課程 学生履修	
教職の意義等 に関する科目	教職の意義及び教員の 役割、教員の職務内容 (研修、服務及び身分 保障等を含む。)、進路 選択に資する各種の 機会の提供等	教 師 論	勝野 正章	2	S1S2	火 6	教育学部	駒場	可	
		教 職 論	浅井 幸子	2	S2	火 3 火 4	教育学部	本郷	不可	
		教 師 論	高井良 健一	2	8-9 月	集中	教育学部	駒場	可	
教育の基礎理 論に関する科 目	教育の理念並びに教 育に関する歴史及び 思想	基 礎 教 育 学 概 論	今年度は開講なし (「教育哲学概説(教育思想論)」 と隔年開講)				教育学部	本郷	可	
		教育哲学概説(教育思想論)	山 名 淳	2	A1A2	木4	教育学部	本郷	不可	
		教 育 原 理	下地 秀樹	2	S1S2	木 5	教育学部	駒場	可	
		教 育 原 理	田中 昌弥	2	8-9 月	集中	教育学部	本郷	可	
	幼児、児童及び生徒 の心身の発達及び学 習の過程(障害のある 幼児、児童及び生徒 の心身の発達及び学 習の過程を含む。)	教 育 心 理 I	市川 伸一 植阪 友理	2	S1S2	金 5	教育学部	駒場	可	
		教 育 心 理 II	伊藤 貴昭	2	S1	金1 金2	教育学部	本郷	可	
	教育に関する社会的、 制度的又は経営的事 項	教 育 社 会 学 概 論	本田 由紀	2	S1	火3 金3	教育学部	本郷	不可	
		教 育 と 社 会	西 島 央	2	A1A2	火 4	教育学部	駒場	可	
	教育課程及び 指導法に関す る科目	教育課程の意義及び 編成の方法	教 育 課 程	岩田 一正	2	S1S2	水 5	教育学部	駒場	可
			教 育 課 程 論	富士原 紀絵	2	S1S2	火 5	教育学部	本郷	不可
教 育 課 程			上野 正道	2	8-9 月	集中	教育学部	本郷	可	
道徳の指導法		道徳教育の理論と実践	西野 真由美	2	S1S2	月 5	教育学部	駒場	可	
		道 徳 と 教 育	片山 勝茂	2	S1S2	金 4	教育学部	本郷	不可	
		道 徳 教 育 法	藤井 佳世	2	8-9 月	集中	教育学部	本郷	可	
特別活動の指導法		特 別 活 動 論	福島 昌子	2	A1A2	火 6	教育学部	駒場	可	
		特別活動の指導法	森 俊二	2	8-9 月	集中	教育学部	本郷	可	
		特別活動の指導法	森 俊二	2	A1A2	火4	教育学部	本郷	可	
教育の方法及び技術 (情報機器及び教材 の活用を含む。)		教 育 の 方 法	小笠原 喜康	2	8-9 月	集中	教育学部	本郷	可	
		教 育 方 法 論	渡辺 貴裕	2	A1	月 5 月 6	教育学部	本郷	不可	
		教 育 の 方 法	藤江 康彦	2	S1S2	月 5	教育学部	駒場	可	

生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法	進路指導・生徒指導	寺崎 里水	2	S1S2	月 6	教育学部	駒場	可
		生徒指導・進路指導	大多和 直樹	2	S1S2	金 2	教育学部	本郷	可
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教 育 相 談 I	高岡 佑壮	2	A1A2	月 5	教育学部	駒場	可
		教 育 相 談 II	伊藤 直樹	2	A1A2	金 1	教育学部	本郷	可
教育実習	教 育 実 習 I		勝野 正章	3	集中		教育学部		不可
	教 育 実 習 II		藤江 康彦	5					不可
教職実践演習	教職実践演習（中・高）		福留 東土 勝野 正章 山名 淳 植阪 友理 勝亦 あき子 武田 竜一	2	A2	金 5 金 6	教育学部	本郷	不可

※教育実習を除き、同じ科目名の授業を複数修得することはできない。

表4「各教科の指導法」

教育職員免許法上の 認 定 科 目	科 目 名	担当教員	単位	開講 時期	曜日 時限	開設学部	開講 場所	前期課程 学生履修
国語科の指導法	国語科教育法Ⅰ	齋藤 知也	2	S1S2	月 3	教養学部	駒場	不可
国語科の指導法	国語科教育法Ⅱ	齋藤 知也	2	A1A2	(未定)	教養学部	駒場	原則2年次 から可
国語科の指導法	国語科教育法Ⅲ	小 森 潔	2	S1S2	金 4	教育学部	本郷	原則2年次 から可
国語科の指導法	国語科教育法Ⅳ	江頭 双美子	2	8-9月	集中	教育学部	附属	原則2年次 から可
国語科の指導法	国語科教育法Ⅳ	頓所 本一	2	8-9月	集中	教育学部	本郷	原則2年次 から可
社会科の指導法	社会科教育法Ⅰ	戸田 善治	2	S1S2	月 1	教養学部	駒場	不可
社会科の指導法	社会科教育法Ⅱ	秋本 弘章	2	S1S2	月 4	教養学部	駒場	不可
社会科の指導法	社会科教育法Ⅲ	田中 暁龍	2	S1S2	金 2	教育学部	本郷	原則2年次 から可
社会科の指導法	社会科教育法Ⅲ	小 林 汎	2	1-3月	集中	教育学部	本郷	原則2年次 から可
社会科の指導法	社会科教育法Ⅳ	野崎 雅秀	2	A1A2	火 4	教育学部	本郷	原則2年次 から可
地理歴史科の指導法	地理歴史科教育法Ⅰ	戸田 善治	2	A1A2	(未定)	教養学部	駒場	不可
地理歴史科の指導法	地理歴史科教育法Ⅱ	秋本 弘章	2	S1S2	月 5	教養学部	駒場	不可
地理歴史科の指導法	地理歴史科教育法Ⅲ	小 林 汎	2	8-9月	集中	教育学部	本郷	原則2年次 から可
地理歴史科の指導法	地理歴史科教育法Ⅲ	田中 暁龍	2	A1A2	金 2	教育学部	本郷	原則2年次 から可
公民科の指導法	公民科教育法Ⅰ	吉田 俊弘	2	S1S2	集中	教養学部	駒場	不可
公民科の指導法	公民科教育法Ⅱ	小澤 富士男	2	8-9月	集中	教育学部	本郷	原則2年次 から可
数学科の指導法	数学科教育法Ⅰ	傍士 輝彦	2	S1S2	集中	教養学部	駒場	不可
数学科の指導法	数学科教育法Ⅱ	傍士 輝彦	2	A1A2	集中	教養学部	駒場	不可
数学科の指導法	数学科教育法Ⅲ	加々美 勝久	2	8-9月	集中	教育学部	本郷	原則2年次 から可

数学科の指導法	数学科教育法Ⅲ	加々美 勝久	2	A1A2	火1	教育学部	本郷	原則2年次から可
数学科の指導法	数学科教育法Ⅳ	小張 朝子 細矢 博和	2	8-9月	集中	教育学部	附属	原則2年次から可
理科の指導法	理科教育法Ⅰ	左巻 健男	2	A1A2	集中	教養学部	駒場	不可
理科の指導法	理科教育法Ⅱ	滝川 洋二	2	A1A2	(未定)	教養学部	駒場	不可
理科の指導法	理科教育法Ⅲ	對比地 覚 前田 香織	2	8-9月	集中	教育学部	附属	原則2年次から可
理科の指導法	理科教育法Ⅳ	對比地 覚 前田 香織	2	8-9月	集中	教育学部	附属	原則2年次から可
保健体育科の指導法	身体教育方法論	上岡 洋晴	2	S1	火1 火2	教育学部	本郷	不可
保健科の指導法	保健と教育	医学部担当係に 問合わせること	2	S2	(未定)	医学部	本郷	原則2年次から可
英語科の指導法	英語科教育法Ⅰ	奥 聡一郎	2	A1	(未定)	教養学部	駒場	原則2年次から可
英語科の指導法	英語科教育法Ⅱ	奥 聡一郎	2	S1	木3 木4	教養学部	駒場	不可
英語科の指導法	英語科教育法Ⅲ	奥 聡一郎	2	S1	火3 火4	教育学部	本郷	原則2年次から可
英語科の指導法	英語科教育法Ⅲ	越 智 豊	2	1-3月	集中	教育学部	本郷	原則2年次から可
英語科の指導法	英語科教育法Ⅳ	戸上 和正	2	8-9月	集中	教育学部	附属	原則2年次から可
ドイツ語科の指導法	ドイツ語学概論(1)	(今年度は開講しない)				文学部	本郷	不可
フランス語科の指導法	フランス語学概論Ⅰ	杉山 利恵子	2	S1S2	木3	文学部	本郷	不可
フランス語科の指導法	フランス語学概論Ⅱ	杉山 利恵子	2	A1A2	木3	文学部	本郷	不可
中国語科の指導法	中国語学概論	木村 英樹	2	A2	集中	文学部	本郷	不可
ロシア語科の指導法	スラヴ語学概論	三谷 恵子	2	A1A2	月2	文学部	本郷	不可
宗教科の指導法	宗教学概論Ⅰ	藤原 聖子	2	S1S2	火3	文学部	本郷	不可
情報科の指導法	情報科教育法Ⅰ	辰 己 丈夫	2	S1S2	火5	理学部	本郷	可
情報科の指導法	情報科教育法Ⅱ	辰 己 丈夫	2	A1A2	火5	理学部	本郷	可
農業科の指導法	農業教育Ⅰ	柴田 道夫 山 岸 順子	2	A1A2	木2	農学部	本郷	原則2年次から可
農業科の指導法	農業教育Ⅱ	山 岸 順子	2	S1	火4 金4	農学部	本郷	不可
工業科の指導法	工業教育	工学部担当係に 問合わせること	4	工学部担当係に 問合わせること		工学部	本郷	原則2年次から可

※「各教科の指導法」は、それぞれの教科においてのみ教職科目として単位が認められるので、注意すること。
例えば、「英語科の指導法」であれば、英語以外の教科で「教科又は教職に関する科目」(前掲表1参照)として単位を利用することはできない。

平成 30 年度 学部便覧及び大学院便覧「教育職員免許状の取得について」の内容一部修正について
(該当ページ 学部便覧 P. 113、大学院便覧 P. 140)

参加資格（エ）について、表 2 「教職に関する科目」の単位の修得方法から抜粋

	教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	
必	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	※ 1
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）	
		進路選択に資する各種の機会の提供等	
修	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	※ 2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	※ 3 ※ 4

上記※ 1～4の区分のうち、3区分以上に跨って6単位以上修得する必要がある。

（要件を満たしている例：「教師論」「基礎教育学概論」「教育課程」を修得済）

※教職課程のカリキュラムの関係から、平成23年度以前及び平成27年度・28年度の学部入学者は、教育実習の実施は学部後期課程3年以上（学部2年の進学内定者以上が申し込み可能）となっている。